

フリー96kg級で吉田が優勝 レスリング東日本学生春季新人戦 次の目標は世界ジュニア



吉田 年成

レスリングの東日本学生春季新人戦が6月25日から27日まで駒沢体育館で行われ、フリースタイル96kg級で吉田年成(商2・八戸工第一高)が優勝。5月のJOCジュニア選手権に続き、表彰台の頂点に登りつめた。

また、同96kg級で三上恭佑(経済2・巻農高)、同60kg級で坂口信二(経営2・添上高)、グレコローマンスタイル60kg級で岩崎健太(経済2・専大北上高)がそれぞれ3位の成績を収めた。

ケガなどで、満足のいく練習が出来ないまま大会に臨んだ吉田。「不安はありましたが、その中で結果を残すことが出来てうれしい。さらに高いレベルの大会でも優勝を狙いたい」と語り、向上に余念がない。次の照準は世界ジュニア選手権だ。(高橋伸明・文2)

レスリング部 神鋼ラグビー部と5日間の合同練習



レスリング部は6月9日から5日間、生田レスリング場で神戸製鋼ラグビー部との合同練習を行った＝写真。連日、早朝6時から1時間、午後6時から3時間、みっちり汗を流した。異種目ながら、社会人の実力チームとの練習は良い刺激になったことだろう。

〔7月15日/ニュース専修15面〕

人 Zoom UP テニス部 道慶知子



世界の舞台で活躍しているテニスプレーヤーが専大にいる。道慶知子である。人当たりが良く、気さくで、見た目はごく普通の女子大生という感じだ。しかし、テニスの世界では数々の学生大会で優勝し、さまざまな国際大会にも出場。見た目では測れない、奥に秘めた力強さを持ったプレーヤーである。

テニスを始めたのは小学生の頃で、両親がテニスをしていて、一緒になって始めたのがきっかけ。軟式もやっていたが、中学で硬式に専念し始めた。しかし、中3から高1にかけて甲状腺の機能のバランスが崩れ、一時期テニスが出来なくなった。

そんな辛い時期を乗り越え、高3のインターハイでは団体が優勝、ダブルスで準優勝するなど好成績を残す。両親から「家を離れてがんばってみなさい」と励まされ、本学の佐藤雅幸監督に誘われて入学。2年次の時には、全日本学生室内テニス選手権大会のシングルスで学生タイトルを始めて獲得した。「この時は本当にうれしかった」と語ってくれた。

授業のある時はその合間をぬって、夏休みなどの休暇期間中はほぼ毎日トレーニングを行うなど、テニスに対する思いは強く、テニスが楽しくて仕方がないといった感じだ。こういった日々の練習の積み重ねが道慶の強さを支えているのだろう。オフの時はテレビを見たり、音楽を聴いたりして、ゆっくり過ごしているようだ。

今の夢を聞くと「プロの世界は厳しいけれど目指したい。自分のできるところまで頑張ってみたい」と、控えめながらも力強く答えてくれた。

そんな道慶は今年の8月に日本代表として韓国で開催される学生スポーツの祭典、ユニバーシアード夏季大会に出場する。存分に力を発揮してきてほしい。(幸脇健太・文3)

[7月15日/ニュース専修15面]

全日本学生スキー夏季競技会 陸上800メートルリレー2位、駅伝3位 女子が総合2位に

全日本学生スキー夏季競技会が6月20日、東京都大泉中央公園陸上競技場で行われ、男子は総合8位、女子は総合2位となった。

毎年恒例のこの大会は100メートル走や駅伝、リレーなど陸上競技が中心。女子800メートルリレーでは2位、女子駅伝でも3位と健闘した。個人種目では100メートル走で船渡千裕(法1・高山高)が3位入賞。女子総合は日大に惜しくもあと一歩及ばなかった。現在はシーズン本番に向けて練習に励んでいる。(高橋奈津子・文3)

[7月15日/ニュース専修15面]

アメフト 春のオープン戦終了 グリーンマシーン2勝3敗



▲序盤戦、一進一退の攻防

アメリカンフットボール春のオープン戦最終試合となる近畿大との定期戦が6月15日、等々力硬式野球場で行われ、専大グリーンマシーンは0-6で敗れた(今季オープン戦=2勝3敗)。

序盤から一進一退の攻防が続くが、第2Qで近畿大にフィールドゴールを決められ、先制点を奪われてしまう。後半、何とか巻き返したいグリーンマシーンだったが、攻撃・守備共にかみ合わず相手ゴールを割ることができない。逆に追加点を許して終了。リーグ戦に向けて大きな課題を残すこと負けを喫した。(稲田礼子・法2)

[7月15日/ニュース専修15面]

テニス 石原侗奈が優勝 諏訪湖オープン2003

諏訪湖オープンテニストーナメント2003が6月16日から21日まで諏訪湖の森テニスクラブで行われ、石原侗奈(文1・静岡市立高)が見事優勝を果たした。

ほとんどセットを落とさずに勝ち進み、決勝では6-1、7-6と接戦を制した。

また、6月18日に荏原湘南スポーツセンターで行われたダンロップカップ神奈川オープンテニスでは、藤代春香(経済1・筑陽学園高)がシングルスでベスト8、ダブルスでベスト4と健闘した。

1、2回戦を順調に勝ち進んだシングルス。準々決勝も3セットまで持ち込むが、惜しくも敗退。藤代は「持ち味である積極的な攻めが出来た。次の試合につながるプレーが出来たと思います」と振り返った。(高橋奈津子・文3)

[7月15日/ニュース専修15面]

小さな親切運動 体育会各部から60人が参加 通学路を1時間半かけて清掃



体育会本部主催の「小さな親切運動」が7月5日、生田キャンパス周辺で行われた＝写真。

体育会各部、同好会から約60人が参加してキャンパスから向ヶ丘遊園までの通学路を1時間半にわたって清掃。猛暑の中、学生達は汗をぬぐいながら、空き缶やタバコの吸い殻などを懸命に拾い集めた。通学路は地域の皆さんの道でもある。マナーを

守った行動を心がけたい。(佐山美貴・文3)

[7月15日/ニュース専修15面]